

名古屋市スポーツ推進計画（案）に対する 市民意見の内容及び市の考え方

「名古屋市スポーツ推進計画（案）」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

いただいたご意見とそれに対する市の考え方を公表します。

なお、ご意見のうち、内容について趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、原文を一部要約し、また分割して掲載しておりますので、ご了承ください。

平成 25 年 3 月

名古屋市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課

電話 052（972）3262

FAX 052（972）4417

電子メール a3262@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

実施結果

1 実施期間 平成 24 年 12 月 28 日(金)から平成 25 年 1 月 28 日(月)まで

2 提出状況

(1) 意見提出者数 9 人

(2) 意見提出方法

手段	郵送	ファックス	電子メール	計
人数	3 人	3 人	3 人	9 人

(3) 意見総数 30 件

3 市民意見の区分

市民意見の区分	件数
1 スポーツの定義等について	3
2 現状と課題について	3
3 計画全般について	2
4 今後の生涯スポーツ推進策について	2 2
計	30

1 スポーツの定義等について 3件

施策等	件数	意見の内容	市の考え方
スポーツの定義について	2	・意識的に通勤手段を徒歩にかえたり、エレベータ・エスカレータの使用を控えて階段を使う。日常の運動も「スポーツ」ということで、「スポーツ」への抵抗感を減らし、実践へのハードルをさげる、素晴らしい視点。 ・今回の「スポーツの定義」は市民一人ひとりが「スポーツに関わった感」を味わうことがしやすい大切な定義。	各種事業の実施を通じて、いつでも、どこでも、だれとでも、気軽にスポーツ（運動・スポーツ）を楽しむことができる社会環境の醸成を図るよう努めてまいります。
スポーツの意義について	1	・ある辞典では、名古屋発祥のニュースポーツが10種目もある。これらのスポーツも利用しながら、「コミュニケーションツール」としてのスポーツのあり方も考えていくことが必要。	スポーツには多様な意義があり、ご指摘の通り、コミュニケーションツールとしての意義もあると考えます。スポーティブ・ライフ月間事業等において、「いつでも、どこでも、だれとでも、気軽に」できるスポーツの紹介をするとともに、多様な意義の啓発にも努めてまいります。

2 現状と課題について 3件

施策等	件数	意見の内容	市の考え方
ささえるスポーツについて	2	・ささえるスポーツについて、「スポーツボランティア」に視点を絞って述べられているが、家族のスポーツ活動支援を「ささえるスポーツ」と定義することで、計画に参画していることをより味わせる。 ・スポーツ振興のための寄付・助成なども「ささえる」スポーツではなかろうか。	家族のスポーツ活動支援は、ささえるスポーツ（及びみるスポーツ）の側面もあると考えております。今後、市民へのアンケート調査を実施する際など、ご指摘の点を反映することを検討してまいります。 本計画案において、スポーツ施設・設備の高機能化などに、スポーツ施設関連の寄付金を活用していくことを考えております。
みるスポーツについて	1	・国際規模の大会招致なども市民にとって魅力のひとつであるが、オアシス21のスケートリンクなどを見る人、スポーツバー、インターネットの動画サイト等の活用も検討が必要。	みるスポーツは、トップアスリートを直接、或いは、マスメディアを通じた視聴に限定しているものではありませんが、各媒体の活用、行政の関わりについては、今後研究が必要と考えます。

3 計画全般について 2件

施策等	件数	意見の内容	市の考え方
副題について	1	・副題の「ナゴヤ・元気UP!」の「ナゴヤ」に違和感を覚える。「名古屋市」と異なる概念なのか。	「ナゴヤ」表記は他でも使われています。本計画案において「名古屋市」と異なる概念とは考えておりません。
数値目標について	1	・数値目標を成人の運動・スポーツ実施率を65%以上とした理由は。	平成23年度市民アンケート調査の結果が、58.4%であり、国のスポーツ基本計画等における目標も参酌し、65%以上と設定いたしております。

4 今後の生涯スポーツ推進策について 22件

施策等	件数	意見の内容	市の考え方
意識啓発について	2	・有名選手、有名人を起用したマラソンのコツ、練習方法、初心者メニュー、マラソン大会の紹介等のテレビ番組の放送 ・小中高校にDVDを送り総合や体育の時間に活用	イベント等の実施に際しては、トップアスリートが参加するなど魅力あるものとし、効果的な意識啓発に努めてまいります。
プロスポーツ団体の支援等について	1	・名古屋には、プロバスケットチームがない。チームへの財政支援や、総合体育館を活用したホームゲーム、オールスターゲームの開催を。	本計画案には、イベントでのトップアスリートとの交流推進、トップアスリートによる地域スポーツの支援、地元プロスポーツ団体（企業スポーツを含む）等民間活力を導入した持続可能な協力体制の構築など、掲載いたしております。
誰もがスポーツに参加しやすい環境づくり	1	・一人では参加するのに勇気がいる方が、スポーツ介助者と一緒に参加し、困った時だけ多少の補助をしてもらう。事業を募集する際に、スポーツ介助者の仕組みを取り入れていくなど、新しいスポーツ環境づくりの検討を。	スポーティブ・ライフ月間におけるイベントにおいては、様々な方が参加できるよう努めてまいります。 また、各施設においても、障害を持った方を受け入れる際のマニュアルの作成や職員への研修を実施することで、誰もが利用しやすい環境づくりに努めてまいります。

施策等	件数	意見の内容	市の考え方
大会の開催支援、スポーツセンターの利用について	4	・器具の関係で、限られた施設でしかできない大会の開催について、優先的な利用のあり方等の配慮を。 ・施設の機器の更新にあたっても利用者への配慮を。 ・スポーツセンターでスポーツ活動をしているが、競技場利用抽選について、1週間に1度の利用がかなわないグループがあるのに、週に何度も利用しているグループがある公平な運営をお願いしたい。	全国大会等の優先利用については、一般利用者に配慮しつつ調整しております。 また、施設に備えられた器具の更新については、各施設の利用状況や老朽化を勘案して実施してまいります。 スポーツ施設の利用の抽選については、スポーツ・レクリエーション情報システムのコンピューターにより、公平に行っております。
働く世代のスポーツ推進について	1	・3～4ヶ月に1回「無料体力測定の日」を設けて、市内20か所くらいで体力測定できるようにする。その場で必要に応じて個別アドバイスをしたり、スポーツイベントの宣伝をする。公共施設や駅での啓発広報は効果が低いと考える。	日頃から運動・スポーツを実施されていない方へのスポーツセンター等におけるきっかけとなる機会の提供は、必要と考えています。きっかけづくりとなる機会提供や啓発広報を効果的に行えるよう努めてまいります。
スポーツセンターのスポーツ推進拠点化について	3	・団体競技のスポーツに参加したいと考えているが、個人ではなかなか仲間が集まらない ・当日参加OKのウォーキング・ジョギングの小大会の開催 ・スポーツセンターにおけるイベントの宣伝、申込み受付窓口の設置	各スポーツセンター等において、そこで活動している各種グループへの加入募集やイベントの案内等の情報提供に努めてまいります。
スポーツ・レクリエーション情報システムの改修等について	2	・ポータルサイトに期待。 今のシステムは、ページの切り替わりが多いこともあって見にくい。シンプルな操作ができる仕組みに。 ・毎年各種スポーツ指導に関するライセンスを取得する指導者人口は増加している。指導者の登録や募集をするスタイルの構築を。	現在、所管ごとに分かれている複数の施設予約システムの統合をし、スポーツ施設等の利用予約を行う市民がより利用しやすい新たなシステムを提供することを検討しております。 なお、指導者の登録・募集については、「教育サポーターネットワーク」で実施しております。

施策等	件数	意見の内容	市の考え方
小中学校の部活動について	2	・小中学校の部活動指導について、外部顧問、外部指導者は有効。それ以上に教員の指導者が増えることが理想。そのために、まず部活動特殊勤務手当の大幅増額（少なくとも外部指導者並みに）を強く望む。 ・小中学生が高齢者とスポーツ交流ができる機会を工夫してもらえると良い。	「部活動の推進」にあたっては、より多くの教員から協力が得られる体制づくりが大切だと考えております。また、教員顧問の技術的な支援や安全指導上の支援をする人材として外部指導者の活用は有効と考えております。 地域ジュニアスポーツクラブ等の設立・継続支援の中で、小中学生が高齢者とスポーツ交流ができる機会を検討していきたいと考えております。
達成感を味わえるプログラムの設定について	2	・地域総合型スポーツクラブ、既存の団体で（例えば子供会、町内会、職域親睦会）で、年齢や性別に関係なく「達成感」を味わえる名古屋市独自のプログラムの設定（例：ギネスに挑戦） ・個で楽しんでいる方（例：毎日ラジオ体操をしている、ジョギングをしている）など地道な活動を評価していくことが大切。	スポーティブ・ライフ月間におけるイベント等において、「達成感」を味わえるプログラムの実施に努めてまいりたいと考えております。また、生涯スポーツに励んでいる人への表彰制度の拡充等の実施に向け、地道な活動の評価のあり方を含めて、今後検討してまいります。
スポーツ総合推進拠点施設等の充実	2	・名古屋城内にある県体育館の移転整備を。 ・4万人～8、9万人収容の競技場または、サッカー専用スタジアムを名古屋市内交通アクセスの良い場所に新設を。	本計画案においては、スポーツ総合推進拠点である瑞穂運動場に未整備の体育館を整備していくことを計画しております。
公園整備について	1	・スポーツ施設について、長期的視野に立ち、大型の公園整備を望む。 野球やサッカーが無料でできる広い公園が、中学校学区に一つずつできるのが理想。緑政土木事業と連携し、防災拠点という観点からも中規模、大規模公園の整備、新設長期計画の策定を。	有料野球場などの屋外スポーツ施設を有する新たな公園を計画的に整備する予定はございません。 公園整備については、地域のご意見を伺いながら立案し、その内容を決めて行く考えです。

施策等	件数	意見の内容	市の考え方
道路整備について	1	・ 散歩しやすい道があるともっと日常の運動、スポーツを楽しめると思う。	気軽に散歩ができる園路が整備された公園がございしますが、道路については歩行者、自転車、自動車がそれぞれ安全に通行できる道路を目指し整備を進めてまいります。